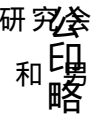


2008年9月7日

各 位

学校会計固定資産研究会
会長 古山



第 119 回学校会計固定資産研究会開催のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、第 119 回研究会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご案内申し上げます。

敬具

記

名 称 : 第 119 回 研究会
日 時 : 2009 年 10 月 7 日(水)
受 付 : 13 : 30
開 会 : 14 : 00
会 場 : 千代田区九段北 4 - 2 - 25
アルカディア市ヶ谷 6 階 霧島
内 容 : 演題 : 『キャンパス F M における O C P 』
講師 : 天野 明夫 (あまの あきお) 氏
(大成建設株式会社 F M 推進部 システム計画室長)

【講演内容について】

キャンパスを対象としたファシリティ・マネジメント (F M) の中で、昨今大きな関心事は、リスクに対する対応方策です。大震災や新型インフルエンザの蔓延など、想定されるリスクは多岐に亘り、どれも緊迫した状況にあることは日々の生活や報道などでも実感されるところです。

リスクに対する対応方策として、近年、一般企業では内閣府の誘導もあって事業継続計画 (Business Continuity Plan) の構築と導入が進んでいますが、大学関係ではこうした取り組みが遅れているように見受けられます。その一因は、「ビジネスの継続」と言う概念が、大学人にとって馴染まないせいかも知れません。そこで、最近になって行政サービスなどに対して使われ始めた、業務継続計画 (Operation Continuity Plan) としてプロセスをまとめ、大学経営にとって直ぐにも役立つリスク対応方策として紹介します。

先ずはじめになすべき事は、想定されるリスクを認識し、学内関係者間で共有する事です。震災をはじめとする自然災害や、人為的なミス・意図的犯罪など大学経営を取巻くリスクは多岐に亘りますが、これらのリスクを要因ごとに洗い出しして、「リスクシナリオ」としてまとめ、これを基に、対応方策を準備することとなります。講演では、主として地震リスクを取上げますが、対応の考え方やステップは全てのリスクに対応可能で、直ぐにも役立つ情報が提供できるものと期待しています。

申 込 : 貴大学からの参加者氏名(1校3名までとさせていただきます)を別紙参加申込書に記入の上、**9月25日(金)**までに、**FAXにてご送付ください。**

欠席される大学もその旨を必ずご連絡ください。

ご連絡先(FAX送付先)は、下記、事務局までお願いいたします。

送付先&連絡先

〒113 - 0034

東京都文京区湯島2 - 18 - 6 夏目ビル6階

学校会計固定資産研究会事務局

FAX : 03 - 3816 - 1281

E-mail : kenkyukai@koteishisan.com

【会場案内図】

アルカディア市ヶ谷 6階 霧島



- ・東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 A1 - 1 出口 徒歩 2分
- ・都営地下鉄新宿線 市ヶ谷駅 A1 - 1 または A4 出口 徒歩 2分
- ・JR中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅 徒歩 2分